足羽山青松園（福井県福井市）

ガス燈のある街

福井市中心部にある標高116ｍの足羽山。山頂の足羽神社の隣にある純日本風の建物が青松園です。和室を備え、文化愛好会の活動の場として、また茶会や句会などの場として、広く市民に利用されています。ガス燈があるのはその庭園。木々に囲まれた庭で、満開になった桜の花びら１枚１枚をやわらかく照らし出します。

撮影：川村典幸

インタビュー

日本ガス協会　西山 卓・地方ユニット長に聞く

地域活性化へコミットを

歩み進める「触媒」を目指す

──地方ガス事業者の置かれた事業環境をどう見るか。

最も大きな要素は人口減少の進行だ。国の昨年の推計で、人口の自然減は鳥取県の人口並みの51万人、出生数も予想よりも早く90万……

京和ガスは流山市保健センターのＥＳＣＯ事業の公募に対応した

ポイント

自治体と連携しよう

22の事例が、どうやって事業化にたどり着いたか、考察してみたい。

22事例のうち17事例が自治体との協力・連携のもとに事業を実施している。ガス販売量増加など、ガス事業者のメリットを直接追求しているケースは少なく、ほとんどが自治体や地域のメリットにつながる事業だ。地域活性化型で見ると、京和ガスや滝川ガスなどは行政のスリム化や民間事業ノウハウを利用したサービスの向上、河内長野ガスは災害に強い街づくり、静岡ガスは健康増進や結婚促進、駐車場不足など、多様な地域課題に貢献している。またシュタットベルケ型の４事例はいずれも、再エネの地産地消でエネルギー購入に伴う域外への資金流出に歯止めをかけること、地域エネルギー会社など地域の産業育成に貢献することが目標だ。

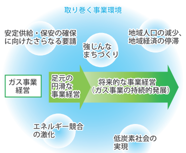
自治体が自ら政策を打ち出している場合は、……

熱海ガスが参加しているグリーンエネルギー推進協議会のシンポジウム（19年12月）

ポイント

地元企業・団体と仲間に

ガス事業経営の二つの視点



──活性化フォーラムの反響は。

先進事例として鳥取ガス、小田原ガス、越後天然ガス、松本ガスなど長野県の5社、釜石ガスの取り組みを紹介した。会員各社から「参考になる取り組み」……

──地域活性化には地元自治体との連携が重要だ。

多くのガス事業者は市町村と同規模で事業を営んで……

ガス事業者はもともと、天然ガスという多くの利点によりを生活を豊かにするエネルギーを供給し、地域に貢献するというSDGsに通じる考えを企業理念として持っている。それをSDGsという世界共通のツールに変換しつつ行動・発信していけば、長期的には地域のガス事業にもプラスになると信じている。

日本ガス協会のページに関するお問い合わせは広報グループ、大武（☎03・3502・0112）まで。

地方創生こそ生きる道

地域活性化がガス事業を強化

新規事業やブランド向上も

地域に根差したエネルギー会社である都市ガス事業者にとって、地域活性化に向けた活動は営業活動と同じくらい重要―。日本ガス協会はこうした考え方のもと、地方ガス事業者による地方創生事業への支援を強化している。今回は2018年度以降「日本ガス協会のページ」で紹介した好事例を振り返るとともに、西山卓・ガス協会地方ユニット長に、今なぜガス事業者が地方創生に取り組むべきかを聞いた。

先進的取り組みに学ぼう

日本ガス協会のページでは2018年5月以降、地域活性化や地域貢献について先進的な取り組みを行う都市ガス事業者の22の好事例を紹介してきた(表)。まだ「最初の一歩」を踏み出していない事業者に、ヒントを得てもらうのが狙いだ。改めて整理すると、一見ガス事業者の持ち出しに見える事業が、事業多角化やブランド力強化など、ガス事業の強化につながっていることが分かる。事例を振り返るとともに、成功の「コツ」を探った。

地域活性化型

これまで取り上げた事例は、「地域活性化型」「シュタットベルケ型」「低炭素型」の三つに分けられる。

……市が行政コスト低減や市民サービス向上のために指定管理制度の活用を拡大していることに呼応し、17年度……

……を通じて生まれる市や市民団体との関係は、地味だが強固なブランドづくりにつながるとしている。

上越市ガス水道局は少子化対策とオール電化対抗を組み合わせたガス料金メニュー「新築お祝い3年割」「子育てプラス割」を17年4月から導入。新築戸建住宅のガス採用率向上につなげている。

……社」に向けたアイデアの事業化を検討中だ。

久留米ガスは、地元市民団体と共同事業体を組んで、久留米市の市民活動サポートセンターの運営を19年4月に開始した。同事業……

滝川ガス社屋内の市営住宅受付

入した。

滝川ガスは、北海道滝川……

シュタットベルケ型

低炭素型

三つ目は「低炭素型」。日本海ガスは「環境未来都市」「SDGs未来都市」を標榜する富山市に協力している。

小田原ガス出資の湘南電力が電源としているほうとくエネルギーの太陽光発電所

日本ガスはバイオマス発電所へのガス供給……

2018～19年度に取り上げた事例の一覧

	実施主体	取り組み	掲載月
地域活性化型	京和ガス、流山市	ＥＳＣＯ事業で公共施設の設備更新時の初期コスト抑制などに貢献	2018年 5月
	河内長野ガス、河内長野市	防災型の新本社ビルの一部を災害時にボランティア団体に開放	18年 7月
	静岡ガス、富士宮市	「駐車場シェアリング」で駐車場不足に悩む市の課題解決に協力	18年 9月
	上越市ガス水道局	新料金メニューの新築お祝い３年割、子育てプラス割の導入から２年を経て利用者アンケートを実施、概ね好評	19年 7月
	武州ガス、国交省荒川上流事務所、埼生協	地元の河川環境保全活動を行うボランティア団体助成を継続的に実施	19年11月
	滝川ガス、滝川市	滝川市の市営住宅の家賃収納など管理事業を受託	19年11月
	静岡ガス、清水町	町と包括協定を締結。第１弾としてクッキング婚活イベント開催	20年 1月
	久留米ガス、久留米市、協働ＣＡＣＥ	地元市民団体と共同で市の市民活動サポートセンターを運営	20年 1月
シュタットベルケ型	鳥取ガス、鳥取市	バイオガス発電所を設置し地域新電力の小売り用電源に活用	19年 1月
	越後天然ガス、新潟市、秋葉区	新潟市秋葉区の公共施設約110カ所に低炭素電力を供給開始	19年 5月
	唐津ガス、唐津市	地域新電力会社「唐津パワーホールディングス」を設立	19年 9月
	小田原ガス、湘南電力、レクシヴ	再生可能エネルギーで充電した電気自動車によるカーシェアリング事業を実施	19年 9月
低炭素化型	日本海ガス、富山市	富山市の「環境未来都市」づくりの施策に協力	18年 5月
	室蘭ガス、室蘭市	室蘭市の「グリーンエネルギータウン」構想具体化に協力	18年 7月
	佐賀ガス、佐賀市	清掃工場から出る二酸化炭素分離・回収事業など「バイオマス産業都市」づくりに協力	18年 9月
	東京ガス　東京23区	東京二十三区清掃一部事務組合と共同で地域新電力会社を設立	18年11月
	熱海ガス	「マイクロ水力」の開発に全面協力し自社も導入調査を実施	18年11月
	北陸ガス、柏崎市	市の「地域エネルギービジョン」具体化に協力	19年 1月
	山口合同ガス、下関市	地元連合で下水処理場のバイオガスＦＩＴ売電事業を実施	19年 3月
	沖縄ガス、糸満市	下水由来のバイオガスでコージェネ。電源を小売りに活用	19年 3月
	仙台市ガス局、ＪＲ東日本	東北の玄関口ＪＲ仙台駅へのガスコージェネレーション採用を支援	19年 5月
	日本ガス	鹿児島県内最大の木質バイオマス発電所に出資	19年 7月

記事本文は、日本ガス協会のホームページ「特設サイト・外部サイト」のガスエネルギー新聞のコーナーに掲載しています。
https://www.gas.or.jp/gas-enenews/